



北海道札幌国際情報高校

Hokkaido Sapporo Intercultural and Technological High School

国際交流の取り組み

Our International Exchange Participants
— We Did It Despite the Challenges —
2022-2023



～主な国際交流実績～

<アジア>

日中友好50周年記念事業オンライン交流会
北京外国語大付属中学校・高校 (中国)
テマセクポリテクニク高校 (シンガポール)
東丘マーケティング高校 (韓国)

<オセアニア>

ウェリントン高校 (ニュージーランド)

<ヨーロッパ・ロシア>

AFS長期留学生受け入れ (チェコ, ベルギー)
バルトルディ高校 (フランス)

サンクトペテルブルク583番学校
(姉妹校 ロシア)

ノボシビルスクITリツエィ(姉妹校 ロシア)

<北米>

AFS 長期留学生受け入れ (アメリカ)

短期個人留学生 (カナダ)

<その他>

ハワイのカイザー高校との姉妹校調印(予定)
北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業
北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業

トビタテ留学 JAPAN! 第7期採用2名(カナダ1名, フィリピン1名)

トビタテ留学 JAPAN! 第8期採用4名(イギリス1名, カナダ2名, ガーナ1名)

Hokkaido Study Abroad 2022, 2023

AIG 高校生外交官渡米プログラム 2022*

AIG 高校生外交官渡米プログラム 2023

済州国際青少年フォーラム*

SIT Talks

交流データ

*はオンラインでの実施

姉妹校との交流

Online Exchanges with Sister Schools



A ポストンノーブルズ校 (米国)
竹中千夏 ニツ森菜月 (27期グローバルビジネス科)

私たちは、アメリカの姉妹校ノーブルズ校との交流で美術部の活動を紹介します。私たちのビデオでは、昨年の高文連での作品をひとり1人紹介しました。ノーブルズ校からのビデオでは、各自が自由に作品制作をしていて、それを秋に校内で展示して、飾られている様子を見せてもらいました。また次は対面やオンラインなどで交流してみたいです。



D バルトルディ高校 (フランス)
ジェッケル・クレモン (高2)
私にとって、仲が良く、一緒によく笑う家族は最も大切なものの一つです。一番楽しいのは、

外国に行って風景や文化、人々と一緒に発見する時です。終わりがないかのように何でも話せる友人も大切な存在です。また、音楽も人生の中で大きな位置を占め、お気に入りのグループや、どんな音楽を聞くのか、などを話して楽しく交流しました。

C 工藤悠隆 (27期国際文化科)

私たちが人生に大切なものとして映画や音楽などのエンターテインメントを多く挙げたのに対し、フランスの高校生たちは家族や友達といった人との繋がりを大切にしていたのが印象的でした。彼らが日本に非常に詳しいのに対して、私たちはフランスについての知識が少ないと感じたので、もっと言葉や文化を深く知りたいと思いました。



ベルシャ語を知る講座

東京外大ベルシャ語専攻の須貝梨麻さん (25期国際文化科) によるオンライン講座を実施しました。ベルシャ語やイランの歴史、文化について学ぶ貴重な機会となりました。

4言語交流共同プロジェクト

「私の幸せな人生に大切なもの」
B ノボンスクツリツェイ (ロシア)
ディアナ・チチコワ (中3)

日本人と話してみたいと思って、11月にやっと実現できました。私は幸せな人生に家族と大好物の柿が必要だと話しました。他にも、趣味や私が参加しているサブカルチャーのコミュニティなどについて話しました。共通点が多く、みんな笑顔の交流でした。交流会の後、WhatsAppでグループを作って、今も交流を続けています。



E 窪田陽河 (27期国際文化科)

リツェイ校の皆さんは日本の文化への関心がとても高く、交流の時間は楽しくて一瞬で時間が過ぎました。特に漫画やアニメなどのサブカルチャー人気の高さを知りました。私は人生に大切なものとして家族と読書を挙げましたが、食べるのが好きなのは全世界共通でした。とても貴重な経験となり、いつか会える日が来れば良いと思います。

E 北京外語大附属中 (中国)
蔡心怡 (高1)

交流会なんて初めてで、本当に緊張しましたがとても楽しかったです。体操を見た時、皆さんがこちらの動きをまねしてくれたのが、優しくて可愛くて、その瞬間、全然緊張しなくなりました。私の幸せな人生に大切なものは美味しい物と音楽、だと話しました。女の子たちはハートを作ってくれました。可愛すぎました。また交流したいです。

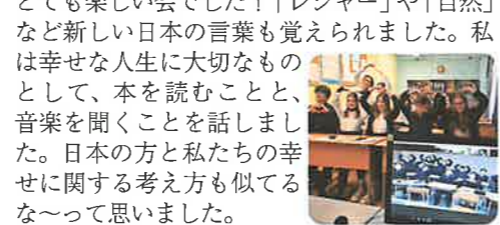
H 惣田堅斗 (27期国際文化科)

とても温かい雰囲気交流できたので緊張がほぐれました。私は「幸せな人生に大切なもの」に「時間」をあげましたが、他に「家族が幸せなこと」や「ゲーム」などが話題になりました。みんな日本語が上手で日本のここが好きだということのはっきり伝わってきて尊敬でした。もっと中国について学び、さらに楽しく交流したいと思います。

お琴の会

サマーコンサートをハイブリッド方式で実施し、来校者は7カ国からの留学生を含む34名、オンラインでは交流校の生徒達を中心に7カ国から70名の視聴がありました。

G サントペテルブルク583番学校 (ロシア)
サルニコヴァ・サーシャ (高1)
オンラインでも緊張してしまいましたが、SITの生徒達は話やすくユーモアのセンスもあって、とても楽しい会でした。「レジャー」や「自然」など新しい日本の言葉も覚えられました。私は幸せな人生に大切なものとして、本を読むことと、音楽を聞くことを話しました。日本の方と私たちの幸せに関する考え方も似てるな〜って思いました。



I 堤花音 (27期国際文化科)

皆さん日本語が上手でびっくりしました！少し分からない部分があってもハンドサインや笑顔で気持ちは伝わるんだと実感しました！私の人生に必要なものでは、「自然」という回答に感動したり、「経済的余裕」というワードが現実的でカッコイイと思いました。また日本のアニメや漫画が広く知られていて嬉しくなりました！



F 東丘マーケティング高校 (韓国)
国際ビジネス科 パクジヒョン (高1)

趣味や好きなことについて話して共感できる部分があってびっくりし、胸がいっぱいになりました！私が思う「幸せな人生のために大切なもの」は自分自身を信じて育てていける能力だと思います。経済的な独立や友達との関係を深めることで、成長し、幸せになると思うからです。次は目を合わせて話ができるように、日本語の勉強を頑張らなきゃと思いました！

I 猪狩乃彩 (27期国際文化科)

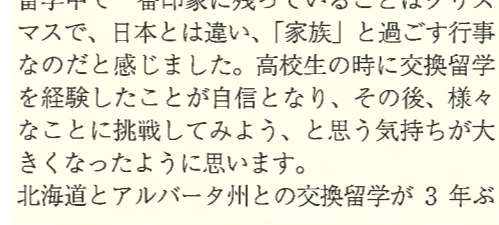
韓国の方と韓国語を使って交流するのは初めてで緊張しましたが、自分の韓国語が伝わり、相互にコミュニケーションができた時はとても嬉しく、自信に繋がりました。私は、今回のテーマについて、家族、友達、愛が大切だと話しました。交流を通してお互いの文化を尊重し、理解しようとする姿勢が見られ、とても良い貴重な時間になりました。

なぎなた部

発着中のALTであるAndyの所属するカナダ・トロント大学なぎなた部と動画を通してインタビューやメッセージの交換、練習内容の共有を行っています。

カナダアルバータ州高校生交流

I 黒川和花 (24期国際文化科)
私は2019年、高校2年生の時にアルバータ州との交換留学に参加しました。留学中で一番印象に残っていることはクリスマスで、日本とは違い、「家族」と過ごす行事なのだと感じました。高校生の時に交換留学を経験したことが自信となり、その後、様々なことに挑戦してみよう、と思う気持ちが大きくなったように思います。北海道とアルバータ州との交換留学が3年ぶりに再開されると聞いて非常に嬉しいです。



N 平田海人 (27期国際文化科)

中国との国交50周年記念交流として、それぞれの学校についてのことや、各国の文化等の話題について交流しました。交流を通じて、中国側の学校生活や文化について知ることができ、国は違えど同じ高校生として考え方が通ずるところがあり、非常に親近感が湧きました。言語の能力以上に大切なものに気づかされ、貴重な経験をさせていただいたことに感謝したいです。1日でも早く直接会える日が来ることを心から願っています。

世界とつながる卒業生から Messages from SIT Graduates

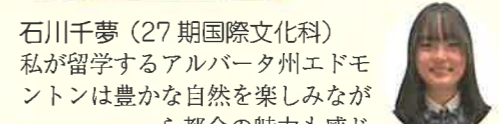
P 櫻井実夢 (22期国際文化科) 2022年教育実習生
私が初めて海外に行ったのは高校2年時の姉妹校訪問(アメリカ・ノーブルズ校)でした。そこで「教育」という分野に興味を持ち、現在、国際基督教大学で言語教育学を専攻しています。スウェーデン第二の都市にあるヨーテボリ大学(University of Gothenburg)への交換留学も経験し、今、皆さんに「様々なことに興味を持ち、一つでも極めていけるな、と思えることを見つけてほしい」ということを伝えたいです。英語+自分の誇れる何かを持った人が求められているように思います。国際情報高校の皆さんなら、きっとそんな面白い人になれるはず！応援しています。

Q 山口里桜 (23期国際文化科)

私は今、Universidad del valle de México (UVM) で Comercio internacional を専攻しています。国際情報高校での国際的な活動から影響を受け、高校3年生の時にAFSを利用して約8ヶ月間メキシコに留学しました。卒業後、そのままメキシコの大学に進学し、毎日新しい刺激を受けながら過ごしています。留学で得たものは言語学以上のものであり、それは一生モノの大切な経験値になっています。思い切って行動してみると世界が広がり、一生の宝物になるに違いありません！高校生である今にしかできない、自分だけの素敵な経験をしてみては？

*全文はホームページに掲載しております。
各記事のアルファベットは地図上の位置とリンクしています

石川千夢 (27期国際文化科)
私が留学するアルバータ州エドモントンには豊かな自然を楽しみながら都会の魅力も感じられる街です。そんな街で、世界的に質が高いとされているカナダの教育を受けることができるのは、とてもいい経験になると思います。ずっと憧れていた留学が実現するという嬉しさでいっぱいです。事前に3年前に参加された黒川さんからアドバイスをいただき、出発が待ち遠しいです。カナダの文化を直接肌で感じ、充実した時間を過ごしていきたいと思っています。



N 北口心愛 (28期国際文化科)

シンガポールの Temasek Polytechnic の TP Japanese Cultural Group とディスカッションやプレゼンテーション、動画を通してオンライン交流を行いました。この交流は計5回の企画で、生徒主体の運営だったので準備がとても大変でしたが、シンガポールの文化や学校生活など、多くの物事を知ることが出来ました。今後も個人でのやり取りを通して、仲良くなった友達と交流を深めたいと思います。

北島理子 (24期国際文化科)

私は California State University, Dominguez Hills というカリフォルニア州立大学の一つに留学しました。東洋大学の交換留学プログラムで来ており、単位交換が可能な科目を取得しつつ、興味がある科目を自由に取りました。物価の高さと円安の状況で金銭面では大変なこともあります。異国の地へ勉強と生活をしに行くことは一生の宝物になります。多くの繋がりは将来に大きく影響し、たくさんの人に支えられているという実感がわきます。日本の大学には多くの留学支援プログラムや奨学金がありますので、目標を明確にしてぜひ挑戦してみてください。

高畑咲来 (25期国際文化科)

小樽商科大学のギャップイヤープログラムでハワイ大学 Kapiolani Community College に留学しました。国籍や年齢の違う沢山の仲間から生き方や価値観を日々吸収し、全力で楽しむことが出来ました。人生の選択肢の多さに気づかされ、自分の興味に向き合って楽しく生きていこう、という価値観が生まれたのはこの留学を通しての大きな収穫だと思います。仲間と助け合うアロハ精神に囲まれ、周りの人や置かれている環境への感謝の気持ちを再確認でき、一人の人間としても大きく成長できました。

北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業

J 後藤彩珂 (27期グローバルビジネス科)

私は1月に北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業で1週間、ワイパフ高校に留学してきました。日本語の授業や部活動などに参加したり、放課後にはホストファミリーに様々な所に連れて行ってもらったりしました。文化や学校生活の違いなど、実際に行かないと感じることのできない学びが沢山ありました。勇気を出して応募して本当に良かったです。

K 小林夏音 (26期国際文化科)

日本で生活していると当たり前すぎて気付かなかった、驚きだらけの留学でした。医療やチャイルドケアのボランティアを通して実際に人々が必要としている支援が何かを知ることができました。現地でたくさんの学生や子どもたちと友達になれてとても嬉しいです。この先も今回のトビタテ JAPAN の留学経験を活かしてフィリピンへの支援を続けていきたいです。

O 田中淑花 (27期国際文化科)

NZの高校生と趣味やそれぞれの国の学校生活について質問し、交流をしたことで、英語でのコミュニケーションに大きな自信がつけました。印象的だったのは、国籍や母国語が違うことによる隔たりを感じることなく、高校生同士のカジュアルな会話ができただけです。今まで以上に海外留学、英語学習に対する好奇心が湧き、とても良い経験になりました。

留学生たち International Students 2022.03 ~ 2023.07



ジョセフ (チェコ) Josef Jihlavec

日本に来るのは子供の頃からの夢でした。なぎなた部での活動や観光などの体験を通じて、日本の文化に触れることが楽しいです。私は大のグルメ好きなのですが、北海道の食べ物とはとても美味しいです。



キーラ (ベルギー) Kiera Vanpanteghem

SITのクラスメートと一緒に、日本の学校生活や文化について多くのことを学びました。琴のクラスでは美しい日本の曲を習いました。例えば「さくら」を習いました。将来やりたいことを見つけることができました。SITは私にとって我が家のように感じられる場所です。

ホストファミリーより Comments from Their Host Family

1年2組 Mix1組 保護者

もっと長期の受け入れをしたかったと思うくらい、楽しく充実した滞在でした。生活習慣の違い、食習慣の違い、文化の違いに触れ、大変貴重な経験と、より世界に目を向ける機会となりました。



1年7組 Mix7組 保護者

チェコに経験というお土産を抱えきれないほど持ち帰ってくれたら日本の両親として嬉しく思います。すっかり家族の一員です。



ホストファミリーより Comments from Their Host Family

2年3組 保護者 その日学校であったこと、生活を送っていく中で日本と母国の違いや本人が疑問に思うことなど、家族みんなで話す時間が毎日持てたことがよかったです。



1年4組 Mix6組 保護者 とても楽しい充実した時間となりました。優しく穏やかな Kiera はすぐ家族の一員となり、自然体でお互いリラックスして過ごす事ができました。



2年8組 保護者 キーラが我が家に来るまでは、ベルギーのことはあまり知りませんでしたが、キーラのお陰でベルギーについて詳しくなることが出来たし、日本との様々な違いを知ることが出来たので良かったです。



ベンジャミン (アメリカ) Benjamin Chen

日本に来たとき、学校へ行くのに緊張しました。SITに着いたらクラスメートに歓迎されてみんなやさしかったです。これまで学校でたくさんのことをやりました。日本文化の授業で着物を着たり、お琴の会で琴をひいたり、吹奏楽部とダンスをしたりしました。学校生活が楽しいです。



エリア (カナダ) Ellia Tse

SITでの授業は本当に楽しいです。日本の高校の科目はカナダの科目とは異なります。書道や日本文化、和食を学びました。自然がとてもきれいです。山と海と川と植物が好きです。クラスメートと先生はやさしいです。ありがとうございます、SIT!

ポスター交流 poster exchange



津田 花恋

(28期 グローバルビジネス科)

留学生とのオンライン交流で学んだことをポスターにまとめることを通して、他の言語を使っている他者との関わり合いにおいて大切なことや異文化への知識・理解を深めることができました。外国の方と交流する機会は多くないので、国際交流委員会の活動を通して、英語を使って留学生との交流を何度も体験できることは、大きな財産になると思います。



泉谷 ゆらら

(28期 国際文化科)

初めて同年代の外国の人、しかも私たちと英語を学習している生徒と英語で話して、とても刺激を受けました。英語を聞き取ることは難しかったのですが、聞き取れた単語から友達と協力して内容を理解することができました。オンラインでの交流ではありましたが、文化の違いや英語の表現など、学ぶことが多かったです。これからも英語の学習を頑張ります。

PTA・国際交流委員長

納藤 真澄

コロナ禍も落ち着き始め世の中が少しずつ動き出し、昨年よりも多くの留学生を迎えることができました。留学生と積極的に交流し成長していく生徒たちを見れたこと、以前とは関わり方が変化しましたが歓迎会のお手伝いできたことを嬉しく思います。今後、今まで以上に海外との交流が盛んになっていくことを願っています。



編集後記

少しずつ、留学をする生徒が出てきました。我慢の数年をオンラインなど工夫することで乗り越えてきましたが、直接体験し、肌で感じることは貴重なものではありません。世界に羽ばたくグローバルシチズン育成のため、今後も全力で応援していきたいです。

*各記事の詳細は本校ホームページ「国際交流」をご覧ください